令和6年度第5回吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定等委員会
議事要旨

1 日 時 令和6年10月25日(金)午後7時～午後8時

2 場 所 吹田市役所 高層棟3階 会議室

3 議事録(概要)

【千里たけみ育成室運営業務の実施状況の評価】

(事務局)

第5回の案件につきましては、育成室運営業務委託事業者の業務実施状況の評価となっております。委員の出席状況ですが、委員全員に御出席いただいておりますので、選定等委員会規則の開会要件を満たしていることを報告します。

本委員会は、委託事業者を評価するという性質上、吹田市情報公開条例第28条第2号の規定に基づき、委員の名前や委員が推測される情報、その他審議内容などについては公表しないものとします。また、委員会の議事につきましては、委員名を伏せて会議録を作成し、市ホームページで公開します。

それでは、以後の進行は委員長に代わらせていただきます。

(委員長)

本日の案件や資料について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

<事務局から資料の説明>

(委員長)

事務局から資料の説明がありました。それでは次第に従い、各委員による評価についての審議を行います。まず、会計に関し専門的な知識を有する委員から、項目9の法人の経営状況について講評と評価をお願いします。

(A委員)

【法人の経営状況についての講評と評価】

(委員長)

それでは、各委員から評価をしたポイントや改善点について御意見ををお願いします。

(委員)

本日見学させていただき、子供たちにとって居心地がよい場所となっており、指導員との信頼関係も築けていると強く感じました。また、おやつ提供についても、保護者アンケートの意見も踏まえて前向きに改善点を検討されておりました。小学校の長期休業期間中の8時開室の実施につ

いては、事業者としても重要課題としての認識はありつつも、前向きなお返事をいただけなかったことは残念だと思いましたが、頭を使ったゲームや様々な手作りの遊びも子供たちが率先してつくっており良い雰囲気運営されていると感じました。

(委員)

子供たちは楽しそうで居心地がよさそうだなと感じました。それが何よりだと思いますが、いくつか気になった点もありました。一つは、配慮を要する児童に対してどのように保育されているのかを聞かせていただいたのですが、非常に気をつけて見ておられることは伝わってきましたが、具体的にどういった配慮をされているか、もう一つ読み取れなかったので、少し専門的なアプローチのお話があったら良かったと思いました。

また、小学校の長期休業期間の8時開室について、職員体制の面で厳しいという点、それから学習活動へのサポートに関して、標準的にはやっていると聞いていたのですが、特別に何か工夫されているところがお聞かせいただけなかったという点を考慮して評価させていただきました。

(委員)

子供たちの様子を見ていて、まず子供たちが、私たちに対しても人懐っこい感じで、安心して過ごしていると感じました。そのことについて指導員の方へお聞きしたところ、子供への声掛けの仕方について、子供が真似してもいいような言い方で、子供に次の行動を促すところに配慮し言葉を選んでいるとのことでした。そういった意識によって、子供たち同士も自然に安心感を持って過ごせているのではないかと思います。

また、保護者の方との懇談についても、行事や個人懇談は多く参加していただけるが、学級懇談になると人数が減ってしまうため、保護者の皆さんが忙しいことを考えて、行事の後に学級ごとに懇談を持つ工夫をされたというところも聞かせていただきました。保護者と学校と連携もとりながら子供たちの育成に当たっており、良い雰囲気があると思いました。

(委員)

私も見学させていただいて、特に評価シートにもある児童との関わりや保育内容などの育成室としての根幹に関わる部分については、非常に子供たちと指導員との関係もいっしょに見受けられました。特に、おやつの時間とか何か行事の準備をする場面ではなく、自由に子供たちが活動している場面を見ることができたので、かえって普段の様子が感じられて、指導員の方々も一生懸命子供と関わっている様子から、安心しておまかせできると感じていました。

今後については、保護者アンケートにもあった改善点や要望を踏まえて、更なる充実を図っていただきたいという話もさせていただきました。アンケート結果については、十分職員間でも共有をして、日々の指導あるいは職員間の何か改善に繋がるような会話の中にも、そういったアンケート結果を活かした、次のステップへ向かう気持ちというのが感じられたので、その点については、今後忘れずに取り組んでいただきたいと思っています。

(委員)

長期休業期間中の8時開室については、子供をいつも通りのリズムで夏休みを過ごさせたいと思うと8時には登室させたいので、そういった観点から8時開室はしてほしいと思います。ただ、待

機児童が発生している育成室もある中、千里たけみ育成室では、教室の増加や職員の確保により待機児童なく受け入れてくださっているのも、先生にあまり御無理を言って負担がどんどん増えてもという気持ちはあります。例えば、8時にどうしても来させたい児童が何人なら週何回開室するなどの条件をつけるとか、保育料の増額を考えてもいいと思います。午後7時までの預かりもありますので無理のない形で運営を続けていただき、職員の皆さんが元気に長く働いていただける職場づくりという面でも考えていただけたらすごくうれしいと思っています。

また、育成室では、帰りの会として上級生の児童が他の児童を順番に指名し一日にあったことを発表するようですが、ただ聞くだけではなく、よかったですね、残念でしたね等のコメントを言っているようで、それに倣って我が子も毎日寝る前におやすみの会を開いており、今日言いたいことがありますかお母さんと聞かれて、こんなことがありましたと答えると、それはよかったですねと言ってくれるといった話も家庭でしています。毎日のことをお互いに振り返って感想を言い合い、楽しんでいる様子が見られて、安心して利用できており、関係性もすごく良いということも感じています。

学習活動については、我が子は宿題を全然育成室でやってこないもので、2回ぐらい先生に声掛けをしてほしいとお願いしたのですが、やっぱりやってきません。宿題をしてきてほしいとも思いましたが、本人が先生と楽しく過ごしたいのに、勉強しなさいとばかり言われると居心地が悪くなると感じたので、もっと期待される保護者の方もおられると思いますが、私は自主性に任せるところでいいと思っています。

(委員)

経営母体の社会福祉法人千里聖愛保育センターが運営する保育園との繋がりもあり、保育園の子たちが、育成室に来てみんなで一緒に遊ぶ時間を設けてくださったりしています。そのおかげで、子供たちも小学校入学前から育成室が楽しみと言って入学しました。保育園から育成室に入るとなると、入学式の前に保育園を卒園した次の日から育成室に行くという生活で、子供たちや親もドキドキしながら送っていくのですが、そこがやっぱり気楽だったと思います。保育園が育成室と同じ経営母体というのはありがたいと思っています。

保育園の時から、とにかく先生が温かくていい方ばかりだという点に安心を感じています。先生方同士がとても仲良く、それも子供たちに伝わっているのではないかと思います。

また、子供たちが主体的に取り組めるような工夫がされていて、イベントも3年生中心に盛り上げてくれたりするのですが、中心になるのはあまり好きでなく、みんなと一緒に行動するのが苦手なタイプの児童に対しても、特に無理強いさせることなく、ほったらかしにせず、できることをさせてくれるなど、声をかけてくださっており、イベントに参加できる形をとっていただいているのはありがたいです。

配慮を要する児童の保育についても、輪の中に入りづらかったりするときには、先生の声かけと一緒に遊んでいただいたり、人間関係の勉強になったと感じています。

更に、遊びの種類がたくさんあるので、選べるというところがとてもありがたいです。例えば、育成室にキーボードが置いてあるのですが、それを友達が弾いているのを我が子が横で見ている

ら教えてくれたそうなんです。それでピアノにすごく興味を持ち、今ではピアノが趣味になっています。新しい興味を引き出してくださって、とてもいい場になっていると感じています。

とにかく子供たちは育成室が楽しいと通い、卒室した後も覗きに行き先生と手を振ったりし、とても暖かいところだと思っています。

保育料に関してですが、8時開室という希望も保護者としてあります。先生方の負担軽減の一つとして、保育料を少し上げてほしいのではないかと感じています。

(委員)

子供が決められたプログラムの中で時間を過ごすのではなく、無理強いせず、いろいろ活動できる点に千里たけみ育成室の特色が出ていると思います。他の委員からの御意見にも出ていたと思いますし、それは学習面についてなど、いろんな意見があるにしても、基本は今の姿勢を持って子供たちに向き合ってもらえたらいいと思います。

(委員)

初めて行かせていただいて、子供たちが元気で活気があって雰囲気がいいように見えました。私を感じた点は、いろんな遊び道具がある中で、レゴなど小さいおもちゃが散乱しているところも整理整頓ができており、先生が周りのいろんなところに気を配りながら運営されていた点が印象的でした。

また、保護者アンケートについては、指導員間で回答を共有し分析されているというお話を聞きました。いろんな声を活かして、次の具体的な動きなどに今後繋がっていくと、更によいのではないかと感じました。

(委員)

今年ハロウィーンのイベントをする際、前までは基本先生たちが準備していたものを今年は子供たちがそれを覚えて、自主的に動けるようにしているという話を聞きました。丸々白紙の状態から好きにやりなさいではなくて、少しやらせてみて子供たちの工夫に任せる点も、千里たけみ育成室の良さだと思います。自主性を育てるという意味で、先生方が指導した方が見栄えなど良くなるのかもしれませんが、子供たちも工夫して上手に作っていたので、成長につながると感じました。

また、先生方の定着率に関して、実務経験年数が他の育成室に比べると長いように思われます。経験豊富で千里たけみ育成室のことをよく知っている方が長く勤めていることが、またその安定した運営に繋がってきているのではないかと感じました。

そのため、他の委員から意見のあった、無理なく長く子供たちと関係を繋げてほしいという内容は、保護者の方と先生方との関係性において、今の先生方が任せられるメンバーだと思っただいているからだと感じます。そこが、近隣にある保育園からの繋がりの良さだろうと思います。一方で、8時開室するに当たって、朝の短時間の人手を増やそうとするときに、悩みも出てくるのではないかと感じました。

(委員)

先生方は、卒室の時と毎年の年度終わりにすごく手が込んでいるアルバムを一人ひとりにくださります。卒室生の分だけでなく、一年生の時は一年生の思い出としてシーズンごとに切り絵など

をつけてくれたり、一人ひとりいい場面の写真をつけてくださったりします。また、誕生日カードも作ってくださり、そういったものを持って帰ってくると、いつまでも置いておきますし、振り返って見てもこの時のことを思い出します。小学校では、まとめてある写真の中から探して購入しなければいけませんが、育成室の先生方は全員分のベストショットを選んでくださっています。すごいなと思いつつも、長時間労働にならないといいなと思っています。一人ひとりを本当に見てくださっていると年度の終わりにすごく感謝しています。

(委員)

本当に一人ひとりを見ていないと作れないと思いますので、そういった意味でも日々の取組の良さが伝わると思います。

(事務局)

各委員からの御意見もいただきましたので、次の案件である委員会としての評価をお願いします。

(委員長)

それでは委員会としての評価を行いたいと思います。

評価シートにおきましては、全委員が実施状況を評価しており、法人の経営状況も問題がないものと見えています。当委員会としては、委託事業者による運営状況については、契約書や仕様書の内容、事業目的を踏まえた保育や運営が適正に行われており、児童の健全育成に貢献していると評価したいと考えておりますが、委員の皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

(委員長)

それでは、本日の意見を取りまとめたものを委員会の評価として答申書を作成するわけですが、私に一任いただいて、委員長の方の了承をもって決定とさせていただきます。よろしいでしょうか。

(異議なし)

(委員長)

それでは、そのように進めさせていただきます。最後に、その他の案件に移ります。

(事務局)

今後の予定として、委員会からの答申を基に、現在の委託事業者との令和7年度からの5年間の随意契約を進める予定でございます。

(委員長)

以上で第5回吹田市立留守家庭児童育成室運営業務委託事業者選定等委員会を終了いたします。